

各位

東大阪宇宙開発協同組合  
理事長 今村博昭

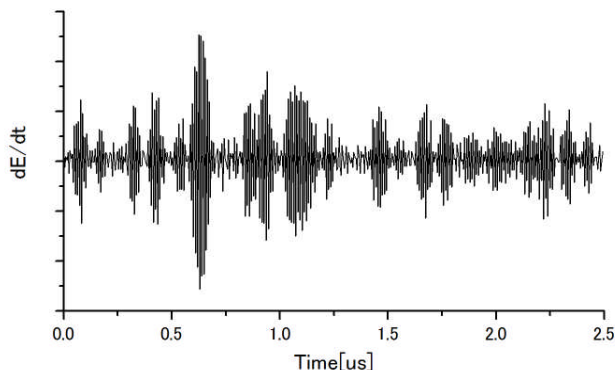
### 小型人工衛星「まいど1号」運用状況のお知らせ(3)

小型人工衛星「まいど1号」は順次各機器の運用を開始しています。

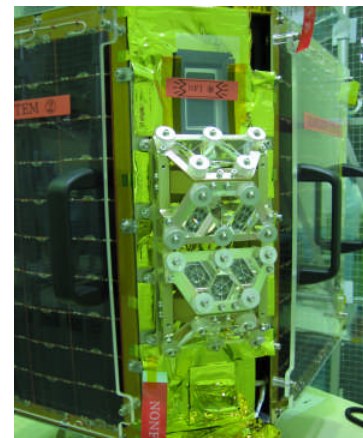
平素より当組合のプロジェクトに格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2月28日の時点で、ほぼすべての機器のチェックアウトを完了し、アマチュア無線用アンテナの展開を完了しました。

VHF広帯域波形測定器(BMW)はその後、雷の発生地帯、非発生地帯を明確に区分してデータを取得し、非発生地帯ではデータのないことを確認し、雷固有の信号の取得に成功した事が確認できました。



オーストラリア上空で取得した波形例



衛星側面のレーザ反射体

2月18日～23日の間、日本国内でのレーザ反射実験を実施しました。  
JAXA 種子島局、NICT(情報通信研究機構)小金井局、海上保安庁水路部で観測に成功しました。  
引き続き3月2日から22日まで海外を含めたレーザ反射実験を行います。  
これらのデータを蓄積することで、衛星の軌道を電波よりも精度良く求めることができます。

【お問い合わせ】東大阪宇宙開発協同組合 事務局(担当:野田・松岡)

TEL:06-6747-8081 / FAX:06-6747-8095